

施策評価(平成30年度)

1 基本項目

基本目標	4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち
基本施策	2	自然と調和した安全で快適な都市の形成
施策	29	道路
基本方針		
だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組みます。		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
羽村駅自由通路の拡幅等整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
道路・橋梁の計画的な維持補修	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
自転車走行環境の整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
セットバックの促進と隅切り整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
道路案内標識の改善	計画を見直し完了	A	A	A	縮小
主要幹線道路の整備	計画を見直し完了	A	A	B	レベルアップ

3 施策評価結果

<p>施策29「道路」では、6事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、「主要幹線道路整備」は、引き続き課題の整理などに取り組む必要があるほか、「道路案内標識の改善」では、平成29年度に関係機関との調整や交換が必要な標識の精査を行ったことにより、「計画を見直し完了」としている。</p> <p>また、「羽村駅自由通路の拡幅等整備」などの4事業については、計画どおり完了であり、滞りなく履行されている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>有効性(成果)については、「主要幹線道路の整備」において、具体的な整備計画等の検討に至っていないことから、B(課題があり、今後改善が必要なもの)と評価し、その他の事業については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>本施策の基本方針は、「だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組む」ことであり、「主要幹線道路の整備」においては、傷んだ路面について部分的な補修を実施し、維持管理を図っており、再整備に向けた計画の検討については、課題があるものの、市のメインストリートにふさわしい道路環境となるよう再整備に向けて関係各機関と取組みを進めていくこととしている。</p> <p>また、「羽村駅自由通路の拡幅等整備」では、今後も、JR東日本に対し、東口階段改修の早期完了を働きかけるとともに、コストや工事工程及び駅利用者の安全対策等に注視しながら協議を継続し、関係省庁との調整を綿密に行い、財源の確保に努めていくほか、「道路・橋梁の計画的な維持補修」では、「羽村市道路維持保全計画」に基づき、道路の維持保全を実施し、当初計画の道路について道路補修工事を実施するなど、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られているものと評価する。</p>
--

1.基本項目		作成部署	都市建設部			建築課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 羽村駅自由通路の拡幅等整備 ※施策19に重複掲載		平成 17 年	継続	自治事務	業務委託(全部)	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課	土木課、企画政策課					
基本目標4	ひとと環境にやさしい安全で快適なまち	施策区分	29	道路	管理No.	140

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組みます。
事業内容	駅利用者ならびに東西地区間の通路利用者の利便性や安全性の向上を図るため、羽村駅自由通路の拡幅等整備を進めます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	拡幅等整備の推進	同左	同左	
	店舗移転工事			
	自由通路拡幅工事	同左		
		東口階段工事	同左	

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1 人	240 H	1 人	240 H	1 人	240 H	人	H
主事・主任職	1 人	240 H	1 人	240 H	1 人	240 H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	253,048	602,219	305,150	
人件費(係長職)	1,194	1,194	1,194	
人件費(主任・主事職)	799	799	799	
総事業費(合計)	255,041	604,212	307,143	
国庫支出金				
都支出金	24,750	138,395		
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金	44,800	250,000	213,831	
起債				
一般財源(人件費含む)	185,491	215,817	93,312	
財源内訳(合計)	255,041	604,212	307,143	

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

関係部署における総合調整を行い、自由通路拡幅に関する平成30年度施行協定(平成30年4月2日)を締結し、早期完成を目指し、JRIに対して働きかけを行うとともに、拡幅部に設置される掲示板や案内図等の設置について関係部署と調整を行い、電源の確保等の対応を行った。
また、工期の延伸のため、変更協定(平成30年6月19日)を締結した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	602,219	▲ 193,854	408,365	362,458	88.8%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	240 H	1人	240 H
主事・主任職	1人	240 H	1人	240 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
<p>○拡幅等整備の推進</p> <p>○自由通路拡幅工事</p> <p>○東口階段工事</p>	<p>○拡幅等整備の推進 関係部署における総合調整を行い、自由通路拡幅に関する平成30年度施行協定(平成30年4月2日)を締結し、早期完成を目指し、JRIに対して働きかけを行った。また、工期の延伸のため、変更協定(平成30年6月19日)を締結した。</p> <p>⇒ ○自由通路拡幅工事 拡幅部分に設置される掲示板や案内図等の設置について関係部署と調整を行い、電源の確保等の対応を行った。また、拡幅部分の一部を開放し、利用を開始することで、混雑時の緩和を図った。</p> <p>○東口階段工事 工事着手し、令和元年度未完了に向け、順調に進捗している。</p>

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
<p>妥当性(必要性)</p> <p><input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>	A
<p>効率性(手法)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している</p> <p><input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している</p> <p><input type="checkbox"/> その他 ()</p>	A
<p>有効性(成果)</p> <p><input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている</p> <p><input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった</p>	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

今後も、JR東日本に対し、東口階段改修の早期完了を働きかけるとともに、コストや工事工程及び駅利用者の安全対策等に注視しながら協議を継続する。
関係省庁との調整を綿密に行い、財源の確保に努める。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

自由通路の拡幅整備については、平成30年11月末に拡幅部分の一部を開放するとともに、東口階段改修工事にも着手しており、早期の完了に向け、JR東日本と協議・調整を進めていく。
誰もが安全に通路を利用できるよう、自由通路の早期全面開通を目指していく。

1.基本項目		作成部署	都市建設部			土木課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00	道路・橋梁の計画的な維持補修		年			
01	市道補修等工事	不明	年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)
02	市道補修等工事(補助)	不明	年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)
03	市道FWD調査委託	平成 28	年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	29	道路	管理No.	141

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組みます。
事業内容	「羽村市道路維持保全計画」および「羽村市橋梁長寿命化修繕計画」に沿った、道路・橋梁の計画的な維持補修を行います。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	市道補修等工事 (市道第101、1002、1003、1027号線 L=1,448m) 道路の舗装構造評価 (FWD)調査 L=1,600m	同左 (市道第101、3028、4021号線 L=390m) 同左 L=400m	同左 (道路舗装修繕実施プログラムに基づく優先路線の整備) 同左 L=2,000m	同左 (道路舗装修繕実施プログラムに基づく優先路線の整備) 同左 L=1,500m 路面下空洞調査 L=56km (主要幹線道路ほか)

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	450H	1人	75H	1人	75H	1人	75H
主事・主任職	2人	225H	3人	300H	3人	300H	3人	300H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	110,927	21,860	81,162	74,409
人件費(係長職)	4,474	373	373	373
人件費(主任・主事職)	1,499	2,997	2,997	2,997
総事業費(合計)	116,900	25,230	84,532	77,779
国庫支出金	12,100			5,500
都支出金	23,666	4,140	15,090	15,000
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金	16,000	4,700		
起債				
一般財源(人件費含む)	65,134	16,390	69,442	57,279
財源内訳(合計)	116,900	25,230	84,532	77,779

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

「羽村市道路維持保全計画」に基づき、道路の維持保全を実施しており、現地測量等を早期に行い、早期の工事発注及び完了を目指し取り組み、当初計画通り実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	21,860	▲ 2,236	19,624	19,592	99.8%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	75 H	1人	75 H
主事・主任職	3人	300 H	3人	300 H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○市道補修等工事 3路線 390m ○FWD調査委託 2路線 400m	⇒ ○市道補修等工事 3路線 504m ○FWD調査委託 2路線 360m

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

「羽村市道路維持保全計画」に基づく、道路補修等工事を実施することで、道路の適正な維持保全に努めており、安全で快適な道路環境の整備が図れた。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

安全で快適な道路環境を維持するため、橋梁長寿命化修繕計画、道路維持保全計画及び道路舗装修繕実施プログラムに基づき、道路舗装の点検や調査を継続して実施し、道路状況などを随時を把握する。その結果を基に、各年度の予算への反映及び毎年度計画をローリングすることで、適切な維持補修の対応を図る。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	都市建設部			土木課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 自転車走行環境の整備		年				
01	市道第3028号線自転車専用通行帯設置等工事	平成 30 年	今年度限り	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	29	道路	管理No.	142

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組みます。
事業内容	警視庁や東京都などの関係機関と調整および連携し、自転車レーンの設置や自転車ナビマークの表示など、自転車走行環境の整備を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	自転車ナビマーク設置箇所の検討・調整	同左 市道第3028号線自転車専用レーンの設置 L=350m	自転車ナビマークの表示 L=9,000m、180箇所	同左 L=9,000m、180箇所

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	人	H	1人	75 H	人	H	人	H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費		6,425	1,800	1,800
人件費(係長職)		373		
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)		6,798	1,800	1,800
国庫支出金		2,750		
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金		2,900		
起債				
一般財源(人件費含む)		1,148	1,800	1,800
財源内訳(合計)		6,798	1,800	1,800

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

市道第3028号線について、警視庁より交通安全対策として自転車専用レーンの設置要請があったことから、本路線の路面補修工事と合わせて自転車走行環境の整備を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	6,425	▲ 1,534	4,891	4,891	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	75 H	1人	75 H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
市道第3028号線自転車専用レーンの設置 350m	市道第3028号線自転車専用レーンの設置 347m

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必 当 性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手 率 性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成 効 性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

自転車走行環境を整備したことで交通事故の未然防止が図られたものと考えている。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

自転車走行環境の整備については、隣接する市町と連携し交通安全対策として効果的な路線を選定するとともに、関係機関と調整し、自転車レーンの設置や自転車ナビマークの表示を進め、歩行者や自転車が安心して利用できる道路環境の整備を図る。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	都市建設部			土木課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 セットバックの促進と隔切り整備			年			
01	道路拡幅(セットバック)舗装委託料	不明	年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)
02	市道第7078号線測量及び設計等委託料	平成31	年	その他	自治事務(市独自)	業務委託(一部)
03	市道第7079号線道路拡幅用地不動産鑑定委託料	平成31	年	その他	自治事務(市独自)	業務委託(一部)
04	市道第7080号線道路拡幅用地補償物件調査委託料	平成31	年	その他	自治事務(市独自)	業務委託(一部)
05			年			
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	29	道路	管理No.	143

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組みます。
事業内容	狭あい道路のセットバックを促進するとともに、交差点の隔切り整備を進め、狭あいな道路の解消を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	セットバック部分等の舗装 面積 156㎡、延長 167m (平成29年12月末) 市道第6117号線道路拡幅工 事・用地取得・地上物件補償	同左 面積 180㎡、延長 200m	同左 (施工箇所は、要望及び現 地調査において決定) 市道第7078号線測量及び 設計・不動産鑑定・補償物 件調査	同左 市道第7078号線道路拡幅 工事・用地取得・地上物件 補償

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	1人	30H	1人	30H	1人	30H	1人	30H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	72,843	2,200	16,359	53,500
人件費(係長職)	50	50	50	50
人件費(主任・主事職)	100	100	100	100
総事業費(合計)	72,993	2,350	16,509	53,650
国庫支出金				
都支出金	54,930			
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金	5,500	1,500		
起債				
一般財源(人件費含む)	12,563	850	16,509	53,650
財源内訳(合計)	72,993	2,350	16,509	53,650

③コスト計算

ア 市民	55,710	人における1人あたりのコストは、	42	円
イ 対象者		人における1人あたりのコストは、		円
ウ 成果(物)		の 出来高		の コストは
※ 対象者:				円

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

「狭あい道路等整備方針」に基づき、セットバック部分(138㎡)の舗装を行った。

3

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	2,200	▲ 307	1,893	1,882	99.4%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	1人	30H	1人	10H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
セットバック部分の舗装 180㎡	⇒ セットバック部分の舗装 138㎡

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input checked="" type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

建築基準法に基づくセットバックについて、6件の協力を得ることができ、延長115m(面積138㎡)について狭あい道路の解消が図れた。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

引き続き市民に対し広報及び市公式サイトにおいて、建築基準法に基づくセットバック等について周知し、協力を得ることにより、狭あい道路のセットバックを促進するとともに、交差点の隅切り整備等を進め、狭あいな道路の解消を図り、市民生活の利便性と安全性の向上を図る。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	都市建設部			土木課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 道路の案内標識の改善		平成 31 年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	29	道路	管理No.	144

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組みます。
事業内容	東京2020大会を契機に、羽村市へ訪れる外国人にも、わかりやすい表記にすため、道路の案内標識の改善を進めます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	道路案内標識の改善箇所調査、表記方法の検討	関係機関との協議・調整	道路案内標識の改善 主要地点名標識 18基	同左 道路案内標識 8基

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	5H	1人	5H	1人	38H	1人	38H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費			5,047	5,000
人件費(係長職)	25	25	189	189
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	25	25	5,236	5,189
国庫支出金			2,750	2,750
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	25	25	2,486	2,439
財源内訳(合計)	25	25	5,236	5,189

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

関係機関と調整を図り交換が必要となる道路標識等の精査を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	5H	1人	5H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
関係機関との調整	⇒ 関係機関との調整

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必 当 性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手 率 法 性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成 効 果 性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

関係機関と調整を図り、交換が必要となる道路標識等の精査を行った。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

関係各機関との調整を踏まえ、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に多くの外国人が訪れると思われる駅前など、多くの訪問が予想される場所を重点的に改善する。

【今後の取組方針】

東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に道路案内標識を外国人にも分かりやすい表記へ、段階的に改善する。

平成30年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署	都市建設部			土木課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 主要幹線道路の整備 ※施策19と重複掲載		不明	年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標4 ひとと環境にやさしい安全で快適なまち		施策区分	29	道路	管理No.	145

2.事業の概要

施策の基本方針	だれもが安全で快適に利用できるよう道路・橋梁機能の充実や適正な維持管理に取り組みます。
事業内容	市道第101号線・102号線(市役所通り)については、市のメインストリートにふさわしい道路環境となるよう再整備を計画的に進めていきます。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	市道第101・102号線(市役所通り)再整備計画の検討	同左	関係機関との協議・調整	実施設計および測量

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費				
人件費(係長職)	50	50	50	50
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	50	50	50	50
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	50	50	50	50
財源内訳(合計)	50	50	50	50

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

市道第101・102号線の再整備については、今までも様々な視点から検討を行っているが整備に至っていない。このことから社会情勢の変化など様々な視点から問題点等の抽出を実施している。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費					-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	10H	1人	10H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
市道第101・102号線(市役所通り)再整備計画の検討	市道第101・102号線(市役所通り)再整備計画の検討

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	B

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

市道第101・102号線については、道路維持保全計画を踏まえ道路舗装の修繕を実施した。再整備に向けた検討については、引き続き、課題整理に取り組みメインストリートにふさわしい道路環境となるよう検討を続ける。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

市道第101・102号線については、道路維持保全計画を踏まえ、道路の改修工事の必要性や道路幅員構成等を検討し整備促進を図っていく。また、道路整備に合わせ、景観及び防災面から無電柱化の実現に向け東京都と調整を図る。

【今後の取組方針】

市道第101・102号線(市役所通り)については、神明台二丁目地区の整備の進捗状況や、道路維持保全計画を踏まえ、市のメインストリートにふさわしい道路環境となるよう再整備を計画的に進めて行く。